

朝食には日本食を食べますが、納豆は好きではありません。ぼくはイヌを1びき飼っています。彼のイクロです。ぼくは毎日夕方に、クロといっしょで歩きます。彼は速く走ることができます。

7 私は理恵です。私たちの市には図書館があります。それは大きくて新しいです。私はふだん、放課後ここへ行って宿題をします。私たちの市には動物園があります。それは小さいですが、人気があります。の人々がそこで動物を見て昼食を食べます。動物園から、山を見ることができます。どうぞ私たちの市について教えてください。

(1)質問：理恵はふだん、放課後にどこへ行きますか？

(2)質問：理恵の市の動物園は大きいですか？

(3)質問：動物園からは何を見ることができますか？

総合問題

⇒p.54~p.55

- 1 (1) ア (2) イ (3) イ (4) ウ
- 2 (1) buses (2) boys (3) Her (4) goes (5) studies (6) be
- 3 (1) Please, open (2) Don't, drink (3) How
- 4 (1) don't, any (2) an, old (3) Where, is (4) What, a
- 5 (1) これはノートですか、(それとも)コンピューターですか。
(2) あれは私の大好きな[お気に入りの]自転車です。その自転車は新しいです。
- 6 (1) Use this chair. (2) We are doctors. (3) Are you students? — Yes, we are. (4) Can Tom and Jim play baseball? — No, they cannot[can't]. (5) Let's go to the library. — No, let's not.
- 7 (1) What is[What's] this? — It is[It's] a desk. (2) What fruit(s) do you want? (3) When is your father's birthday? — It is[It's] November 3.
- 8 (1) ①イ ②ウ ③イ ④ア
(2) 1. Yes, he is.
2. He plays it in the park.
3. He has five (video games).

解説 1 orange, baseball, computer, Australiaなどの語にも注意。

- 2 (1)(2) some や How many のあとの数えられる名詞は複数形にする。bus は -es をつけて複数形にする。boy は y の前が母音字なので、そのまま -s をつける。
(3) 「彼女の名前」なので Her。
(4)(5) 主語が三人称・単数なので一般動詞に -s がつくが、go は -es を、study は y を i にかえて -es をつける。
(6) be 動詞の命令文は Be で文を始める。
- 3 (1) 「～してください」といねいに言うときは、命令文の文頭か文末に please を置く。
(2) 「～してはいけません」という否定の命令文は命令文の文頭に Don't を置く。
(3) あとに形容詞が続いているので、「なんて～でしょう」は(How + 形容詞!)の形で表す。
- 4 (1) 主語が I なので、否定文は have の前に don't